

「市民と共に市政を語る会」から 主な提言をまとめてみました

—語る会から1年その後の状況—



防災無線について

防災無線が聞き取れない箇所がある。特に高齢者から苦情が多く、せつかくの放送も無駄になってしまうので実態調査をして、必要な個所には設置してほしい。また、西桂町のように各家庭に防災無線の戸別受信機が入れられるよう考えてほしい。

処理状況

都留市は山間地に集落があり、無線電波の到達が悪い地域が数カ所あります。また、市街地などでは住宅の新築により声が届きにくい場所もあります。基本的には防災無線は、窓を開けたり屋外に出たりして聞いていただくわけですが、昨年十月図面調査を行って聞き取りにくい場所には、スピーカーの増設や方向調節などの措置を講じてきました。なお、各家庭への戸別受信機の設置は、今後の検討課題とさせていただきます。

街路灯の

維持費について

防犯灯は市から補助金が出ますが、商店街の街灯には出ません。蛍光管を交換するのに六千円ぐらいかかります。この部分にも特別に補助がいただけないでしょうか。

処理状況

防犯灯の設置、器具の取り替えおよび電気料については市から補助金を支出していますが、蛍光管の取り替えなどの経費を含め、防犯灯や街灯は地元で維持管理をお願いします。

温泉施設の早期

建設とスタンド 設置について

老人の娯楽施設の拠点として温泉施設の早期建設をお願いしたい。また建設までの間、温泉のお湯がくみ出せるようなスタンドを設置していただけないでしょうか。

処理状況

市民の憩いの場となるような施設を目指し、平成十一年度着工、十二年度中には完成予定で現在準備を進めています。また、温泉スタンドの設置については、現在行っている温泉湯量テストの結果により判断させていただきます。